

令和 4 年度計画の達成状況に基づく点検・評価報告書

第 3 期中期計画	令和 4 年度計画	令和 4 年度計画達成状況		自己点検・評価委員会		内部質保証推進会議	
		評価 区分	令和 4 年度計画達成状況	評価 区分	自己点検・評価委員会	評価 区分	内部質保証推進会議
3. 教育研究組織 【計画 6】㊦(大学院医療保健学研究科) 大学院医療保健学研究科修士課程プライマリケア看護学領域を令和 5 年度に開講するための準備を進めるとともに、開講後適切に運営する。 「計画達成のための方策」 大学院医療保健学研究科修士課程プライマリケア看護学領域を令和 5 年度に開講するため、関係機関との調整等を着実に実施し、開講準備を着実に進めるとともに、開講後適切に運営する。 「評価指標」 ・大学院修士課程プライマリケア看護学領域の開講準備・運営状況（令和 7・8 年度） ・入学者数、特定行為管理委員会開催数、修了生の人数、日本 NP 教育大学	【年度計画 6】 1. 大学院医療保健学研究科修士課程プライマリケア看護学領域を開講するための準備を進める。 ①3P の合意 ②カリキュラム策定 ③講師陣、管理委員会メンバーの確保と大学における位置づけ ④オンライン科目の授業資料の作成（令和 5 年度分）管理 ⑤実習協力病院（病院・施設・在宅）の確保 ⑥放送大学連携申請 ⑦演習教室の確保 ⑧シミュレータの検討（リースも含め） ⑨予算（物品費、人件費等）の概算 ⑩特定行為に関する厚生局相談と申請 ⑪文部科学省への変更申請 ⑫募集広報の作成と方法の検討 ⑬入試問題等の作成 「評価指標」 ・大学院修士課程プライマリケア看護学領域の開講準備状況	Ⅲ	・①から⑬について、計画通り全て完了した。 ・入学試験結果 11 名が合格した。準備状況においては、非常勤講師 77 名、実習施設の確保を完了し、現在は委嘱状の発行、教材作成を進めている。 ・㊦演習教室の確保、㊨シミュレータの検討については、令和 5 年前期に改修工事等を行いシミュレータの設置など教育環境の整備を継続する。 ・また、講師情報の変更に伴って、厚生労働省の変更申請を随時行っていく。				

第 3 期中期計画	令和 4 年度計画	令和 4 年度計画達成状況		自己点検・評価委員会	内部質保証推進会議	
		評価 区分	評価 区分		評価 区分	評価 区分
院協議会における NP 資格認定試験合格者の人数、修了後の就業先と職務の状況、修了後の学会や研究会等の発表件数、在学生と修了生との交流及び研修会の開催状況 【計画 7】（東が丘看護学部・看護学研究科） 独立行政法人国立病院機構との連携協力により東が丘看護学部及び大学院看護学研究科修士課程・博士課程において設置の趣旨を十分活かし教育研究を着実に履行するとともに、国立病院機構との連携協力を一層強化し教育研究体制の整備・充実を図る 「計画達成のための方策」 1. 令和 5 年度に看護学研究科に認定看護管理者養成コース、放射線看護専門看護師コースを設置する。 「評価指標」 ・認定看護管理者養成コース、放射線看護専門看護師コースの設置状況 2. 放射線看護研修センターで行っているがん放射線療法看護認定看護師養成課程は、発展的に終了し、上記看護学研究科における大学院教育に注力する。 「評価指標」 ・放射線看護研修センターの円滑な終了手続き状況 【計画 8】（千葉看護学部） 独立行政法人地域医療機能推進機構（ＪＣＨＯ）との連携協力により、千	【年度計画 7】 1. 設置申請の手続及びカリキュラムの検討を進める。 【評価指標】 ・カリキュラム完成状況 ・設置申請完了に向けた対応状況 2. がん放射線療法看護認定看護師養成課程の活動を総括する。 【評価指標】 ・日本看護協会への届け出の完了手続き状況	Ⅲ Ⅳ	1. 看護学研究科に認定看護管理者養成コースは計画通り設置した。 看護学研究科看護科学コースは、①「教育・研究」②「看護管理者」プログラムに分け、NH O本部との意見交換実施しニーズ把握後、②のカリキュラムを作成し、学則改正や、入学者募集等を進めている。令和 5 年度は実習施設から看護師長等 4 名を受け入れる予定である。日看協への届け出は不要である。収容定員増等の文科省への届出は令和 5 年 5 月の経営会議終了後届出予定である。 2. がん放射線療法看護認定看護師養成課程については閉じることとし、大学院のコースとして検討することとした。理由は、①コロナ禍で一カ所に研修会のために集合できない。②コロナの影響もあり年月を待っても研修希望者は定員まで集まらない。③専任の認定を取得している指導教員が不在である。以上のような施設の条件が整わず、日看協の協力を得て数カ月努力をしたが、不採算のコースとなるため、大学院で専門看護師コース開設の方が現場のニーズはあると考え、認定コースの中止閉校を決定した。	・記載内容等を更に精査されたい。→担当部局において評価区分をⅣからⅢに修正するとともに、本文も修正済み。		

第 3 期中期計画	令和 4 年度計画	令和 4 年度計画達成状況		自己点検・評価委員会		内部質保証推進会議	
		評価 区分	評価 区分	評価 区分	評価 区分	評価 区分	評価 区分
葉看護学部において設置の趣旨を十分活かし教育研究を着実に履行するとともに、ＪＣＨＯとの連携協力を一層強化し教育研究体制の整備・充実を図る。 「計画達成のための方策」 1. 全学様式による教員自己評価を継続する。 「評価指標」 ・全学様式による教員自己評価の継続(1回/年) 2. ＪＣＨＯとの人事交流を継続する。 「評価指標」 ・ＪＣＨＯとの人事交流の継続(助手1人/年) 3. ＪＣＨＯとの共同活動に関するグラウンドデザインをもとに、人材育成と活用を進め、点検評価を行い継続的な発展を図るとともに、成果を公開する。 「評価指標」 ・ＪＣＨＯとの共同活動状況(運営協議会1回/年、未来を語る検討会4回/年、ＪＣＨＯ学会発表1回/年) 4. カリキュラム改定準備を進める。 「評価指標」 ・カリキュラム改定の準備状況 ・ＤＰと一貫したＡＰを実現するための検討状況	【年度計画 8】 1. 全学様式による教員自己評価を継続する。 「評価指標」 ・全学様式による教員自己評価の継続(1回/年) 2. ＪＣＨＯとの人事交流を継続する。 「評価指標」 ・ＪＣＨＯとの人事交流の継続(助手1人/年) 3. ＪＣＨＯとの共同活動に関するグラウンドデザインをもとに、人材育成と活用を進め、点検評価を行い継続的な発展を図るとともに、成果を公開する。 「評価指標」 ・ＪＣＨＯとの共同活動状況(運営協議会1回/年、未来を語る検討会4回/年、ＪＣＨＯ学会発表1回/年) 4. カリキュラム改定準備を進める。 「評価指標」 ・カリキュラム改定の準備状況 ・ＤＰと一貫したＡＰを実現するための検討状況	Ⅳ Ⅳ Ⅱ Ⅲ	1. 全学様式で、教員自己評価を7月に実施した。 2. 1名の助手の人事交流を継続している。 3. JCHO との運営協議会を 8 月 3 日に開催した。人材育成に関しては、新人研修への参加、看護研究に関する共同活動は実施したが、JCHO 学会には準備不足のため演題応募を行わなかった。新人研修、学生実習を含め将来に向けた検討は継続的に実施しているが、「未来を語る検討会」としては実施しておらず、次年度以降の課題である。 4. 4 月に将来構想委員会の下部組織として、カリキュラム評価プロジェクトを立ち上げ、カリキュラム評価に関する拡大会議の後、①DP とのシラバス照合 ②全科目の授業評価アンケートの分析、③4年生卒業時カリキュラム評価アンケート、④現行カリキュラムの看護学教育モデルコアカリキュラムとの照合点検(全教員参加)を行い、3 月に FD 報告会を開催した。令和 5 年度は、令和 6 年度からの新カリキュラムを構想する予定。				

第 3 期中期計画	令和 4 年度計画	令和 4 年度計画達成状況		自己点検・評価委員会		内部質保証推進会議	
		評価 区分		評価 区分		評価 区分	
【計画 9】㊟(和歌山看護学部・看護学研究科・和歌山看護実践研究センター) 生涯を通じて自己研鑽するための支援体制をつくり、生涯にわたって成長し続ける医療人の育成を図る。 「計画達成のための方策」 日赤和歌山医療センターとの協議のもとに、ニーズの高いものから研修を計画・実施を行い、更に和歌山県下のニーズに対応する。 【評価指標】 ・研修の実施状況、研修参加者からのニーズの把握状況	【年度計画 9】 日赤和歌山医療センターと本学部のニーズを優先した研修計画を実施する。 【評価指標】 ・研修の実施状況、研修参加者からのニーズの把握状況	Ⅳ	・医療職を対象に精神疾患を持つ対象者の地域移行をテーマにした基本的な内容の学習会を計 5 回オンライン開催した。本学部の卒業生を対象に交流会を開催し、前向きに取り組めるよう支援した。2023 年度日赤和歌山医療センターに就職予定学生を対象に基本的技術を復習する研修を企画した。 ・生涯を通じて自己研鑽ということから、大学院進学について連携病院には複数回、地域の医療機関には出向いて説明を行った。 ・学習会は 5 回とも概ね満足の評価を得、さらに経験者対象の学習会の希望も出された。さらに他のテーマについての希望をもとに次年度の研修計画を検討している。卒業生の交流会には数 10 名の参加があり、前向きになれたとの感想が聞かれた。基本的技術研修の参加は 50 名程度を予定している。 ・大学院令和 5 年度入学予定者は 8 名で内日赤和歌山医療センターからは 1 名であった。今後入学生の確保を検討する。				